

令和2年度米子市防災会議議事録概要

1 日 時 令和2年7月27日（月）13時30分～14時15分

2 場 所 米子市役所 401会議室

3 出席者

(1) 米子市防災会議委員及び委員代理26名

(2) 事務局

永瀬防災安全監、三木防災安全課長、藤谷危機管理室長、戸崎係長、田淵主任、足立主任

(3) 一般傍聴者5名

4 議題

(1) 米子市地域防災計画（共通対策編ほか）修正案について

(2) 米子市地域防災計画（原子力災害対策編）修正案について

(3) 米子市広域住民避難計画（島根原子力発電所事故対応）修正案について

5 議事録

(1) 開会挨拶

○伊木市長

- ・まだ梅雨が明けていない異例の夏。
- ・九州では大雨で大変な被害が出ている。我々の地域でもいつそういった被害が出るか懸念しながら過ごしているが、今のところそういった状況には至っていない。
- ・一昨年は7月の雨よりも9月の台風の方が多かった。台風シーズンが過ぎるまでは油断ならない。
- ・新聞記事で、避難指示と避難勧告を一本化して運用するという話が出ていた。今年度末に法改正をするとのこと。
- ・我々も西日本豪雨の教訓として、事前の準備はもちろんだが、いざ災害が発生しそうになった時にきちんと掛け声をかけて避難をしていただくということをテーマに、各地区の事情に合った研修会の開催などを行ってきた。まだまだ十分ではないが、積み重ねてやっていかなければならないと思っている。
- ・水害以外にも、地震や原子力などいろいろな災害に備えなければならない。
- ・今日の会議では、これまでに積み上げた修正案について審議していただこうと思っている。忌憚のない意見を頂き、地域の防災力がより一層高まっていくことを望んでいる。

(2) 審議

【資料1「米子市地域防災計画・米子市広域住民避難計画（令和2年度修正案）【修正ポイント】」、資料2「米子市地域防災計画及び米子市広域住民避難計画修正素案に対するご意見への回答」に基づき事務局から説明し、質疑応答を行った。】

○伊木市長

- ・高野委員、昨年の宿題で要配慮者の名簿作成のことがあった。個人情報のことがある中で、可能な個別対応をやっていこうと進めているところであることを報告させていただく。

○高野委員

- ・国の方で台帳化を義務付けられているが、更新も含めて具体的な取組は難しいだろうと思っている。
- ・地域の話をする、毎年敬老会をなんらかの形でしておられ、大半の自治会が名簿を作っており、その名簿を要援護者を把握するために作っていこうという話をしている。
- ・個人情報との兼ね合いもあって台帳の作成が難しい中で、このような形で地域でやっていければいいなと思っている。

○伊木市長

- ・しっかりと声を届けて避難をしきることが大事だと思っている。我々の方でできる努力はさせていたきたいと思っている。

○渡邊委員

- ・今最も気を付けないといけないのは、コロナウイルス感染拡大の影響下にある中で災害が発生した場合のこと。
- ・三密を避けるために避難所を多く開けば開くほど自治体の負担は増える。苦勞されていると思う。
- ・自衛隊としても、九州などで災害が発生している状況で、派遣の準備は完了していたが、命令は出なかった。
- ・河川の氾濫等で避難所を開いているところがあり、孤立している市町村がある、避難所に支援物資が届かないという状況もあるので、コロナの影響も踏まえながら、さらに支援が行き届くようなところを話し合っただけであればと思う。
- ・自衛隊にどのように活動して欲しいのかというニーズを投げただけであれば、それを基に物資の準備ができる。
- ・要請があればすぐに動けるよう、今後も連絡を密にやっていきたい。

○伊木市長

- ・コロナ禍の避難所運営ということで、いつもより多くの避難所開設を想定して準備している。
- ・市役所として、避難所が分散した時に気を付けないといけないのは情報を的確に上げること。避難所ごとに何が足りないのか、どういう状況なのかという情報をしっかりと収集できるように努力したい。
- ・お気付きの点があれば、なんなりとおっしゃっていただきたい。

(3) その他

【資料3「避難所における新型コロナウイルス感染症対策への取組状況」に基づき事務局から説明し、質疑応答を行った。】

○高野委員

- ・私の地区の公民館で、公民館は避難所にもなるので、新型コロナウイルス対策として空気清浄機等が必要だという意見が出ていた。
- ・それは市の方に言わないといけないと強く言った。なぜ公民館独自で考えないといけないのかと。
- ・市の方で十分な支援をお願いしたい。

○伊木市長

- ・正に言われるとおり。公民館に限らず、お住まいの地区の話でも構わない。コロナ対策でこういうことが必要であるということがあれば、なんなりと言っただけであればできる限り支援させていただく。